

報道関係各位

 平成 29 年 6 月 5 日
 アライドテレシス株式会社

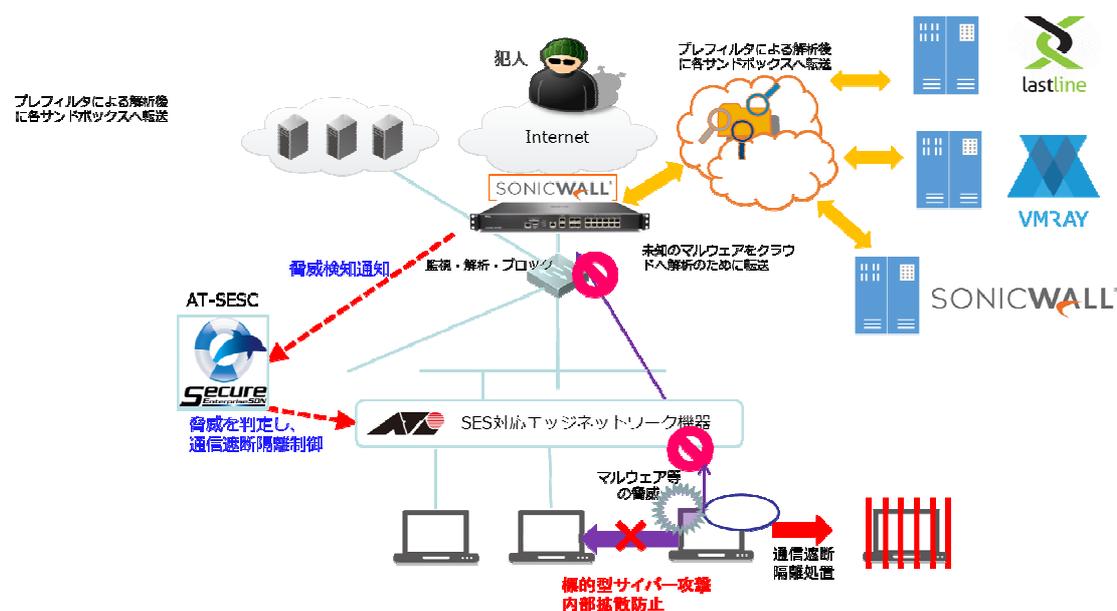
アライドテレシス、 SonicWall ATP サンドボックス機能と SES (Secure Enterprise SDN) ソリューションで連携 —SonicWall 製品連携 第 2 弾—

アライドテレシス株式会社(本社 東京都品川区、代表取締役社長 大嶋章禎)は、アライドテレシスの SDN/アプリケーション連携ソリューション「Secure Enterprise SDN (SES)」と、SonicWall 社の次世代ファイアウォール製品に新しく追加された Capture ATP サンドボックス機能と連携し、SDN によるネットワークセキュリティの強化ソリューションを提供していくことに合意したことを発表いたします。

SonicWall Capture ATP は、SonicWall ファイアウォール上にて利用できるクラウドベースの仮想サンドボックス解析サービスです。Capture ATP は仮想サンドボックスにおいて世界初となる 3 つのエンジンによるマルチエンジン解析技術を搭載し、このプラットフォームにより非常に高度な脅威検出を行い、ゼロデイ攻撃による脅威の検出効率を最大限に高めることを可能としております。

アライドテレシス社の「Secure Enterprise SDN (SES)」は、SDN 技術をエンタープライズ市場に適応させ、企業向けアプリケーションとネットワークを連携/連動させることにより、ネットワーク運用管理にかかる工数/コストの削減、およびセキュリティの強化を実現します。今回 SonicWall 社の次世代ファイアウォール製品の新たな機能であるサンドボックス機能 (Capture ATP) と連携し、未知の脅威に対してエッジスイッチにて遮断・隔離し、拡散防止をするといったより強固な情報漏洩ソリューションを提供することが可能になります。

< SES と SonicWall 社の次世代ファイアウォール製品との連携構成の概要図 >



今後、2017 年 3Q (7 月-9 月) のソリューション提供を目指し、共同開発検証を行ってまいります。

PRESS RELEASE

尚、この度の協業について、ソニックウォール・ジャパン株式会社様、丸紅情報システムズ様よりコメントをいただいております。

ソニックウォール・ジャパン株式会社 代表取締役社長 藤岡 健 様

ソニックウォール・ジャパンは、アライドテレシス様との連携ソリューション開発・提供に向けた継続的な協業を実施しています。今回の発表にありますアライドテレシス様の **Secure Enterprise SDN** と弊社次世代ファイアウォール製品ならびにマルチエンジン搭載の最新クラウド型サンドボックスソリューション「**SonicWall Capture**」との連携強化により、お客様の IT 環境をより強固により柔軟に保護できるものと確信しております。

丸紅情報システムズ株式会社 執行役員 プラットフォームソリューション事業本部長 佐藤 昌之 様

丸紅情報システムズ（以下、MSYS）は、SonicWALL の ATP サンドボックス機能とアライドテレシスの **SES** ソリューションの連携を心より歓迎いたします。MSYS はこれまで、不正侵入防御、ゲートウェイアンチウイルス／アンチスパイウェア機能を統合した **UTM**（総合脅威管理）ソリューションである **SonicWALL** 製品を提供することで、お客様のセキュリティインシデント対策に取り組んできました。今回の連携は、**SES** ユーザのお客様を未知の脅威から防ぎ、これまで以上の安心を提供できるものと確信しております。

以上